国立国会図書館　　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号

ガラス使用

第五十八

杪尺人朱氏家イタス　こかりけれこ
玄本尺人小平皆イタス

共五十四巻

渡利邑
松浦氏

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号
ガラス使用

白

みる人のかはよふ花なれやいろまさりいくす
しきまくほへるかとの給へる
名
みる人まことらせける花の元は就心してこそ
御前へ御まはしつゝしくさたなふ遣りし
のへるいとよき花のあひなりこまやかなる花物語
とをにまりてこの山さきの花まをそまつをいは
りふと実ハ雪し給ふ中納言もすれまし若きのあ
りすりまし花ことさのうとよりにふまて思ひの
まこゝぬよりをおりくまほきくあれまもおりし
くもなれ見わらひみとういふ歴うまきこそいて
のふまして笑めしくなみてかろなる花とせ

君人の御うゑまてあ人袖をしほるつゝかなりて
かひくしきそのひしらひ雪し給ふめる君れにし
きをもてぎふぞあられしまりなまりすりをとわられ
私よりまなりてハをしうふ気いけ分風のにし気
まぐ名めて気ていやさむぎまおなとるふらも清ほく
やこ君めやなれことくしさなまどうくみふきく
さし給ふ遣くもあらず御気をぬ御そのかたるを
はる前やり給へでよもいくうふ前ぬよふかしし
ありうくかりけるになりの山のびをいくさまを
いとさのこまめらざるをけんとのあるまあるまげるま
とひすし給ふそまりなれ花ひなりひかりかし

さおなりうとのまゐぬのすてるけりしまゐのうち
まとあきうせいるうつまなくしめまゐ家をもさ
ましさ海くにうらひ結ひ浦さ海のおしまはまり
されたてうりてけまゐまあまうまて思ひむまな
ほおく事もすこしほくまゐ中ゆゑ結ぶあらなく
むひのひ戸あくむちし結ひ家之の人ちくまゐ
志安くんとまるおとの事ともかたらひ中ゆゑ結を
いとうましきおとうを結ひ知あひなくかつうら
のあやうちとなん思ふのへらるおしの
名称を又うつめへきうゑ結ひ知をかゝに
そなふましまほ所ゆてもむよせ中ゆへまゐ人とすむ

思ひぬつるをもしびむなくやおほしめさ海へまゐと
てのこ異人とかおもひわまそせ姉カナ結ひし
あらわおかてもそこしそまゐ中ゆゑ結へどいし
せのりのようふおとるまゐひこうしの事人のこ
志多りるまむのうちまそなくあめうたかゝみ
まもけふさてこうかやうまくもあつうひきあ
色かるまけまゆくやしあややうくまさり由をど
今そうひなかのゆへつねまうふのこおもまく
あれましまゐもこそいでくまさうためふもあら
されくおありましうんと思ひをならさく包中ノ言れ
ましまさんまほ所ゆてもさうことふおもひうしろこ

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　ガラス使用

ゆらむ人のそこらいふともなくものゝあてこそ
たゞにやすこうをなつかしけまうぞしまして
袖ふれし梅ハ如しらぬまほひまてねこめうれ
ろふ屋とやことなるそこぬなみこをさ夜ようの
ごひうしてこと言おなほもあらひまくもかやう
まくなんなふ事もやましさをよりおへ気なとやまし
を気てこちのぬ店わらはしあるつ気あやしも
人しまの浮ひをくこれやとのまにものひきうら
のとの井ひとなとをさふらふ想けまぎこのわくく
のちの気店ざうなとうれあやとこの浮あづき
なとまのやうなうあやせをあ人さくめを気のふ

弁ぞの屋うの店あとも思ひのけをなりたいれ
ちいやくほうはおほしうを人も捨しうみ思ふ
色はれ今ゆきまはれ物とも人ましまほうしと
てかうちうを色てけるをしるくのしいてくいや
あられとこ浮ふまはのひりしあるをなしきさ後
浮くあくまもるをとおくさのるくを色き紙いとた
浮気なく心ほそうるへ気まうくて捨りんも
あられようましのおへきあやうなんなとこも
いひ屋うをな気のふいとも弁同まも思てのひ侍る命
のつらく又いりふせよとて折すてさうを折ひきん
せうらうしはなべての世紙出むのへしぼむまつ

みもいりふぬ弟くらんこれもひけるあやくも
なりけれへり前きこ捨るこうくすしけまどいや
よくのひなくあめ行ふいてくなびよこれや当天
よけなりしこれなりうぎまてたまきひこひのあや
さ海うきまるまあしわりくなりてされうくに
みやひかりなりたもひまびてきなとうろさ海まも
あしさてまつらさるにんうまはのぶかやうりや
ろうましさてこいりふひふかくうひやてて
ろうましなと記とかくならびおなこ行ふにこれ
人あくうろやましにれべくろくさろ几帳をまこ
志日きやりてこうやかまそかうろひのふげよむ

ぎふ思ひぼ前さうさ海なりうろ抱うろのひさるけ
志天よういくらかしうすゆへあるけるへのか
あるとみしたり
されはさつなみくの川ほ力なをそ人をく
きぬいおらなうましとうらひうこ気あ四それも
いとにこうかくなるごとにこそのきしまいて
れ事ふあれとさしこまましうてぬう気うこまし
にこまくさむこあひなしすべくなべくむかしく
思ひとうへ天世まるんなとのゆふ
力を脱まん海の河よこつみてもらひし記せら
ますれしもきしいりなうん世ますこしを思ひ

なくさむることがなるんとまでもなれあらちし
のふうゑらんかくもなくなりあられて日をくれ
にけまとすくろよさひねをんを人のとりむ前事
言ことあいかけまぞ人を結ひぬ折しの結へ
おさ後とかたまて毎年のやなくかりくくまと
まとひこもこれ人をむ拾気さらけしさまく物ぬ
ひいるをけくおひゆずめる風さらもしらびけく
ろひさ後よふまいよくやけして
人をみかいう気さらめる袖のうちまひとうまを
しををさおくわたりかとうまへ中事れを
堀さおくあまのしろもふことなれやう気さら

波まぬおくわり袖をふまきつり事もいとあり
かくうるへ気わさやおかゆまぞさ後ふしきうひ
てあくをぞおまきてじとなん思ふとさらぞ多い
めんもありぬへけまやしきしけれやもむほそく
てこちとまりみをくにいとくむをゆりぞるむかり
かたちなる人もうからひひさぬるましをこへこ
りらぬまさるめるをる後らのつ日ま思ひあしく
とれくもみを行へなといくなつしくくらひ
行ふひしの人のりてつりひぬしさるへまれてう
とくもなとをこれあの人うしとく兎を気ぬふて
かく人よりぬりく思ひしけるのへおをつまきさ

きの世もやつをわきさらに誓りのやうの縁あん
世思ふ所へむつまじくあるれにすんとのゆふに
いよくまうまんべれこひてなく無うにあるわさ
（弁が御母ノ子ノ意ルヤウニトシ）
めんかくなくおぼくれぬるを皆う気りしひよろ
所とるを志をしめて所車ともよせて所ぎんれ人
人四位又位いとおぼうるを所かつうもいとしう
おはしまさまりしけまどあとくしをなるをてかと
あしのおへにれへさて思ひたる所にはりくるして
心をとなくおぼさ乳母ゆゑ殿よるをも所おれあるを
うすおぼくさてまへれのへるをおぼかくのあるを紙
こそ実よるをへおほしなき天つめまこゆやうなる所（うらくの）

あれかひをさこれ汲まるを思ひよう思ましなく
とかひやうを語ふ日くれぬへしとうちまことに
をのはしを男ゆるに心あるたしを見いつちなんし
とせちうれくうかしとのこおもほえのふに所
車にの所ふ（大まふ）のきことゆふ人のいふ（ゆゆイ）
まふれまうまし天せよをのひけるを方をうち
かちになけくましうまうらをこうを毎のあ所
れ心（公カハリタルヨト中君ノ見あり）まへにあらかうもうかりなれ心所なふ三
語ふ今ひとるを（部トモナシ采車ノ人九ヘシ）
（部たるし）すれすしうこひしきことをすまはれとけふは
たち所もおくむうかいけまをもなくとしへこる

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　ガラス使用

懇

なくなりて相心ほそくなりゆめ為ふなり就なと
むかしよりてさるへき人してはし天どらせ紆ひき
まどらのたりなさ成めふをくみしまいと心うき
もを持らしうおぼゆまぎいるもくにやうのき
様を物うきなんとそさ聞じげなるよしやめてい
うぐりこれ思ひ人おぼ慈なくこ言いけ事を物
家くもてなきべきぞや恨紆けまどしたし天悟な
うしひれうと人ぼ方のいとしむとろし雲に掛し
語へをしゐてもやしうどかし語へざるとり起さ
かつまの人しろ二条院の様就見やるを語ふまゐしなる天
宿れまつ思ひ至らまのへそ心やまくやなとろと

おごちわまるまでなれ語ことにさいるもかへりあ二条
ちよ扛りしまし語気ていとようまとまれ張ふれ
ぞうやまのまさやせみさくまろるそのうち連
れゆりしぞやおぼゆる心れうひとるぞおやしき
やされどしち乃心ぞへをいやあられまうしろや
まく思ひ出て語ひけるまかくれと涌そのまゝり
さきこうしのふてゆふつゝ宮をうち色気り
語りしとて語くるさのおうぞくしてんとかなく海
いつまあれまつまなとすれどこちいくのて多いれ語
かゝへ雨算ゆつま語へつも山ざやのきらひ日きりへく
みまの乃うちんりくまとまして おりしけ分語まう

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号　ガラス使用

国立国会図書館

国立国会図書館　　タイトル『[源氏物語] 54巻』　請求記号

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『[源氏物語] 54巻』 請求記号
ガラス使用